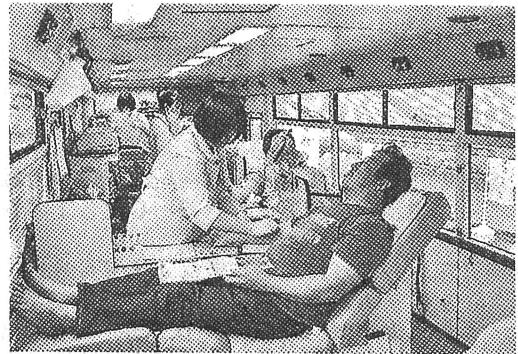


130人が献血

21・建設ク
ラブ・福岡

社会貢献団体（建設業異業種会）の一般社団法人21・建設クラブ・福岡（竹内昭司理事長）は24日、福岡市の大濠公園内において「第1回献血21」
〔写真〕を開催、約130人が献血に協力した。

同会は主に福岡市に本店を置く地元の建設業者



を中心とした83社で構成。社会貢献活動においては、救急救命講習会、AED研修会、防災パトロール等を開催し、日頃から市民の安全・安心な暮らしへのサポート体制を整えている。今回、初の献血となつたが、多くの会員が賛同し、献血に協力した。

あいにくの大雨の中、参加した会員やその家族らは、問診表に必要事項を記入し、福岡県赤十字血液センターの職員から血液センターの職員から体調チェックを受けた後、400mlの献血を行つた。

血液センターの職員は「血液は有効期限があるため継続した献血活動が必要。献血車は1時間に20人前後しか献血できず、待つていただく場面もあつたが、この大雨の中での多くの協力に感謝したい」と話す。

同会では、今後も献血活動を実施していくほか、救急救命講習会、AED研修会、福岡市内及び宇美地区のAED搭載車による防災パトロール、神社仏閣の耐震補強調査も継続して実施していくとしている。